

平成 28 年 11 月度活動報告

1. 総括

秋深まる 11 月も皆様のお陰様をもちまして、議員活動に励ませて頂きました。誠にありがとうございます。上旬は議会の大きな仕事の一つであります「**予算決算常任委員会**」があり、平成 27 年度の敦賀市歳入歳出決算、市立敦賀病院事業決算、敦賀市水道事業決算を集中審査し最終的に認定致しました。平成 27 年度の予算(**市民の皆様**の税金)が正当に敦賀市の為、市民の為に執行されたかを各分科会(総務・産経・文教)にて綿密に調査し、改善すべき点は改善を求めました。全体的には一般会計歳入歳出の収支バランスにおいて約 15 億 2,000 万黒字であることや、市民生活に不可欠な福祉・教育・防災などの予算配分、敦賀の未来のまちづくりに投資する予算などが含まれ概ね着実に執行されており、個人的にも認定について**賛成討論(概要は添付の通り)**をさせて頂きました。原発停止以前に比べますと敦賀市の財政面は非常に厳しいと言われておりますが、決算審査を通し中身を確認しますと全国的にも県内他市に比べましても、財政状況は悪くない状況です。よって敦賀市発展の為の積極的な**経済政策(財政出動)**を実施し、6 年後の北陸新幹線敦賀開業を見据えた新たな産業促進、観光力の強化、企業誘致、市内公共インフラの整備などを進めるべきとこれからもあらゆる機会をとらえ訴えて参る次第です。中旬には議員研修会が二回実施されました。一回目は敦賀市で「**原子力事故発生時における議員としての心構え**」、二回目は鯖江市で「**地方創生**」について学ばせて頂きました。研修の中身については得るものばかりではないのが正直な感想ですが、議員として深く敦賀市政の事を考えられる糧にしたいと感じております。その他、市内行政視察、地元地域での防災訓練・交通安全大会・福祉の集いなど議員として出席させて頂きました。あっという間に 11 月も終わりに近づき 29 日(火)から 12 月議会が開会しました。12 月も議会を始め全力で市政改善、市民福祉向上を目標に頑張ってお参ります。

2. 会派市内行政調査・視察について

(1) 11/9 視察場所：天筒浄化センター、やまびこ園、敦賀港 CFS、リラグリーン

会派で上記 4 カ所を調査・視察した。特に障がい者施設の「やまびこ園」については、現在スタッフ不足の問題があり解決にむけて議論が必要と感じる。入所希望は多いとの事であり、現在入所定員は満員の状況で限られたスタッフで頑張っている現状。その他施設については現在大きな問題は抱えていないようだが、リラグリーン(グランドゴルフ場)についてはもっと分かり易い看板を作るなど発信方法の工夫が必要との議論が会派内でもあった。浄化センターについては施設の重要性を再認識でき必要不可欠なインフラとして今後安定運営を議員としてフォローしていきたい。



(2) 11/28 視察場所：栗野小学校、柴田氏庭園、和久野団地

12 月議会の補正予算に係る市内現地調査で上記 3 カ所を視察した。栗野小学校はトイレの給排水設備の改修費用(50,786 千円)、柴田氏庭園は保存修理事業費(18,536 千円)、和久野団地は住宅再生事業費(48,053 千円)の調査を実施。敦賀市内の小学校トイレについては順次改修されており、栗野小学校についても必要性が感じられた。柴田氏庭園については今後栗野地区を代表する文化的中心地にしていくとの計画で段階的に整備を進めていきたいとの事。和久野団地の再生についても改修が必要なくらい劣化が酷い状況であり妥当であると考えられる。



＝予算決算常任委員会での賛成討論概要＝

政志会の堀居でございます。

私は、第 90 号議案平成 27 年度敦賀市歳入歳出決算認定の件につき、認定に賛成の立場で討論を行います。

平成 27 年度の決算につきましては、一般会計において、歳入の総額は、固定資産税等の減少などで、前年度比 3.5%減の 292 億 6,600 万余りとなり、一方、歳出の総額は、前年度比 3.3%減の 276 億 6500 万余りとなり、翌年度に繰り越すべき財源を引いた実質収支は、15 億 1,900 万余りの黒字となっており、その収支バランスは評価するものでございます。しかし歳入については収入未済額が前年にくらべ増加傾向にあり、将来に向けての大幅改善が必要であり引き続き市民税や手数料等の収納率向上に向けた対策が求められます。

事業内容等につきましては、今回の基本質疑、分科会審査等におきまして市民生活に不可欠な防災、福祉、教育の向上・改善や未来を見据えた市政発展の重要な施策が着実に実施されているものと認められると感じております。特に補正予算で計上されました行政改革推進費につきましては、行政の効率化を目的とした調査費用として執行されたものであり、市民の為になる、市行政組織の更なる強化、効率化を強く期待します。

また、先日落成式が行われました新松原公民館建設の事業など地域の方々の拠点となり将来に渡り長く地域を支える場所ができたことは地域にとって非常に大切であり今後の予算編成におきましても地域をハード面、ソフト面で守っていける事業の推進を期待致します。

将来に向かって健全な財政を堅持するためには、積極的な経済活性化策はもちろんのこと、時代にあった更なる行政改革の推進が求められると感じます。

平成 27 年度を通してさまざまな事業が実施され、今後も費用対効果の妥当性は民間以上の感覚を持って取り組んで行くべきと存じますが、敦賀市または市民の現在を守り、未来を創る多くの重要な施策が実行されたと評価し、私の平成 27 年度敦賀市歳入歳出決算認定についての賛成の討論と致します。

議員各位のご賛同を宜しくお願い致します。